

DP チャートの集計とまとめ

1 DP チャート集計（2024 年度後期まで）

※保育科の留年した学生、音楽学科及び美術学科の編入生は母数が少なすぎるため含めていない

※()内は修得単位数

旧 DP：3・4 年生（学年は 2024 年度時点）

<全体>

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
4 年生	2. 51	2. 46	2. 38	2. 49	2. 25
3 年生	2. 66	2. 66	2. 61	2. 55	2. 37
全体	2. 57	2. 54	2. 49	2. 52	2. 30

<音楽学科>

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
4 年生	2. 39 (6, 680)	1. 87 (1, 670)	2. 55 (3, 254)	2. 40 (1, 666)	2. 18 (10, 950)
3 年生	2. 73 (5, 120)	2. 77 (940)	2. 96 (2, 402)	2. 78 (1, 438)	2. 42 (9, 100)
全体	2. 54 (11, 806)	2. 19 (2, 610)	2. 72 (5, 656)	2. 58 (3, 104)	2. 29 (20, 050)

<美術学科>

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
4 年生	2. 69 (7, 278)	2. 66 (3, 870)	2. 32 (3, 648)	2. 65 (4, 016)	2. 84 (1, 878)
3 年生	2. 59 (6, 068)	2. 67 (2, 650)	2. 35 (3, 404)	2. 76 (4, 194)	2. 40 (630)
全体	2. 65 (13, 346)	2. 66 (6, 520)	2. 34 (7, 052)	2. 71 (8, 210)	2. 73 (2, 508)

<地域社会学科>

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
4 年生	2. 22 (2, 014)	2. 63 (1, 162)	1. 93 (644)	2. 41 (6, 712)	2. 21 (6, 738)
3 年生	2. 65 (1, 252)	2. 55 (902)	2. 65 (398)	2. 37 (6, 534)	2. 28 (5, 676)
全体	2. 38 (3, 266)	2. 59 (2, 164)	2. 20 (1, 042)	2. 39 (13, 246)	2. 24 (12, 414)

新 DP：1・2 年生（学年は 2024 年度時点）

<大学全体>

	DP1	DP2	DP3	DP4
2 年生	2. 60	2. 74	2. 92	2. 39
1 年生	2. 68	2. 70	2. 42	2. 53
全体	2. 62	2. 73	2. 69	2. 44

<音楽学科>

	DP1	DP2	DP3	DP4
2 年生	2. 50 (2, 436)	2. 57 (2, 368)	2. 78 (432)	2. 27 (3, 620)
1 年生	2. 80 (1, 104)	2. 84 (916)	2. 59 (394)	2. 78 (1, 530)
全体	2. 59 (3, 540)	2. 65 (3, 284)	2. 69 (826)	2. 42 (5, 150)

<美術学科>

	DP1	DP2	DP3	DP4
2 年生	2. 81 (5, 786)	3. 30 (812)	3. 09 (552)	3. 03 (780)
1 年生	2. 83 (3, 004)	2. 49 (602)	2. 57 (654)	2. 70 (524)
全体	2. 82 (8, 760)	2. 95 (1, 414)	2. 81 (1, 206)	2. 90 (1, 304)

<地域社会学科>

	DP1	DP2	DP3	DP4
2 年生	2. 25 (2, 900)	2. 70 (1, 112)	2. 88 (918)	2. 37 (2, 232)
1 年生	2. 29 (1, 582)	2. 71 (672)	2. 11 (520)	2. 21 (1, 498)
全体	2. 26 (4, 482)	2. 70 (1, 784)	2. 60 (1, 438)	2. 31 (3, 730)

<保育科>

	DP1	DP2	DP3	DP4
2 年生	2. 96 (2, 096)	2. 75 (3, 946)	2. 82 (1, 268)	3. 16 (280)
1 年生	3. 45 (1, 530)	3. 33 (2, 640)	3. 95 (440)	3. 74 (218)
全体	3. 17 (3, 626)	2. 98 (6, 586)	3. 11 (1, 708)	3. 42 (498)

<専攻科保育専攻>

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
2 年生	3. 80 (120)	3. 59 (240)	2. 78 (128)	3. 51 (260)	3. 30 (40)
1 年生	3. 44 (220)	3. 40 (336)	3. 50 (112)	3. 51 (332)	3. 75 (56)
全体	3. 56 (340)	3. 48 (576)	3. 12 (240)	3. 51 (592)	3. 56 (96)

2 集計結果について

DP チャートの集計結果について、昨年度のものに合わせて2年分のデータを得られたため、前年度と比較しながら分析を行った。また、一部ディプロマ・ポリシー達成度調査の結果についても確認を行った。

今年度は修得単位数も確認することができたため、表に記載した。

<旧 DP>

2024 年度の結果を見ると、2023 年度時点で特に低かった音楽学科現 4 年生の DP2 と地域社会学科現 4 年生の DP3 について、この 1 年間で改善することではなく、むしろさらに低い結果となった。しかし、2024 年度の 3 年生に同様の傾向は見られないため、カリキュラムの問題ではなく該当学年の傾向に過ぎなかったと考えられる。

本チャートを教育課程の改善に活かすという観点では、身に付いていない能力を育てられるような教育課程にする必要がある。

<新 DP>

この 2 年間のスコアを見る限り、際立って低い（GPA が 2.00 を下回る）DP は見られない。強いて言えば地域社会学科はやや GPA が低い傾向にあり、逆に短大はいずれも高いスコアを示している。

学科の科目により評価にバラつきがあるため、結果として学科ごとに GPA のバラつきがあると思われる。今後は科目ごとに GPA を算定し、評価の基準を平準化するように検討する必要がある。平準化するよう評価の基準を定めるか、科目ごとに個別対応するかは要検討。

<2023 年度と 2024 年度の新入生の比較>

音楽学科：DP3 以外は 2024 年度新入生の方が高い。

DP 達成度調査でも DP3 のみ「できる・ある程度できる」の割合が低下。

美術学科：DP1 のみ 2024 年度新入生の方が高い。

DP 達成度調査では 2024 年度新入生の方が全体的に自己評価は高め。

地域社会学科：全体的にあまり差はないが、DP3 以外は 2024 年度新入生の方が高い。

DP 達成度調査では 2024 年度新入生の方が全体的に自己評価は高め。

大学の 3 学科では DP 3（課題発見・社会貢献性）が昨年度の 1 年生よりも低くなっていた。

保育科：高い水準で、2024 年度新入生の方がさらに高い。

DP 達成度調査でも 2024 年度新入生の方が全体的に自己評価は高め。

専攻科保育専攻：増減はあるが、全体的に高く特筆すべきことは見当たらない。

＜参考１＞DP チャート集計（2023 年度後期まで）

全体

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
大学全体（2 年生～4 年生）	2.56	2.52	2.45	2.54	2.32
短大（2 年生）	2.80	2.72	2.71	2.67	
専攻科保育専攻（2 年生）	2.89	3.10	3.13	2.89	3.08

大学学科別

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
音楽学科 4 年生	2.44	2.24	2.55	2.58	2.34
音楽学科 3 年生	2.44	1.97	2.53	2.50	2.20
音楽学科 2 年生	2.60	2.76	2.93	2.70	2.28

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
美術学科 4 年生	2.77	2.80	2.52	2.84	2.90
美術学科 3 年生	2.69	2.59	2.30	2.70	2.66
美術学科 2 年生	2.56	2.33	2.29	2.65	2.11

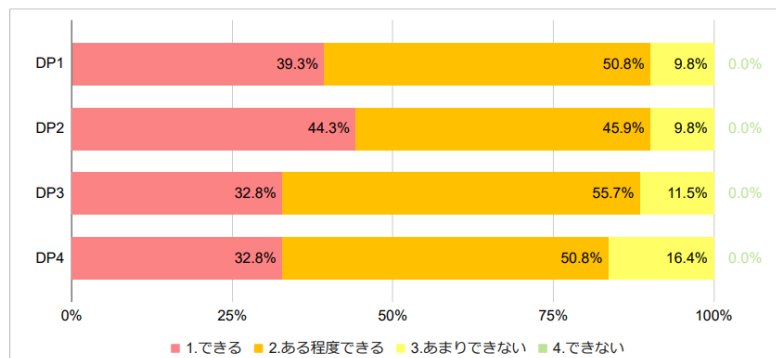
	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
地域社会学科 4 年生	2.57	2.73	2.15	2.46	2.27
地域社会学科 3 年生	2.25	2.77	1.91	2.46	2.27
地域社会学科 2 年生	2.39	2.20	2.61	2.34	2.21

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
音楽学科 1 年生	2.48	2.56	2.79	2.25	
美術学科 1 年生	2.82	3.34	3.15	3.07	
地域社会学科 1 年生	2.18	2.61	2.84	2.28	
保育科 1 年生	3.01	2.88	3.62	3.40	
専攻科保育専攻 1 年生	3.80	3.59	3.25	3.49	3.30

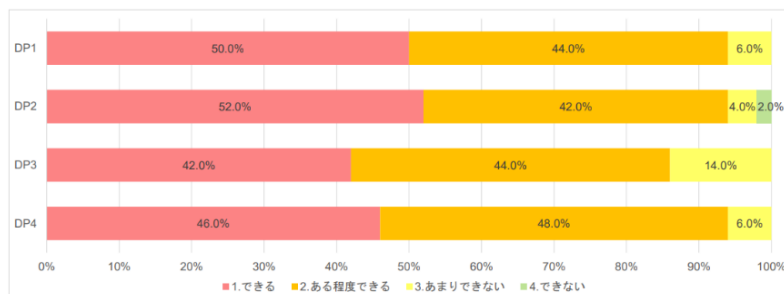
<参考 2> DP 達成度調査結果（2023 年度、2024 年度 1 年生）

音楽学科

2023 年度 1 年生

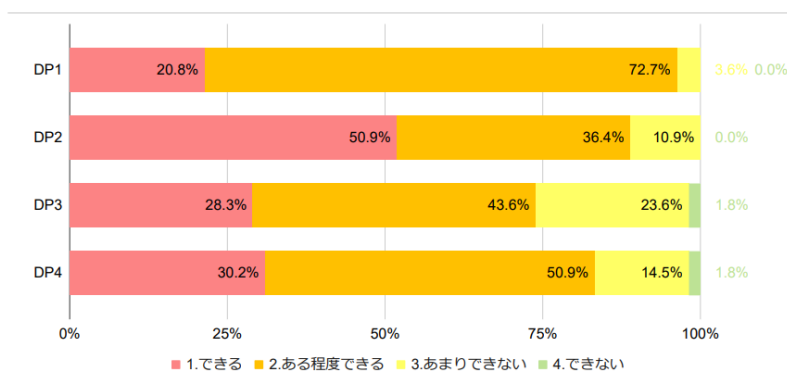


2024 年度 1 年生

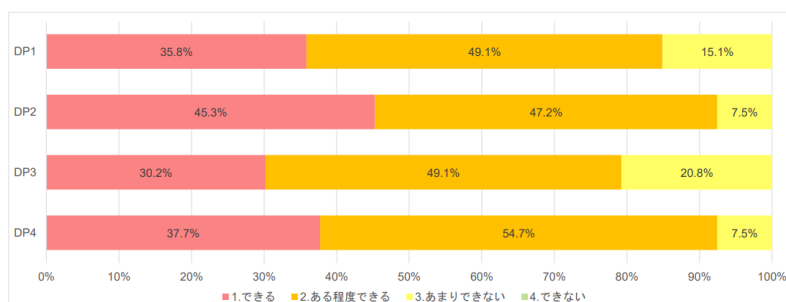


美術学科

2023 年度 1 年生

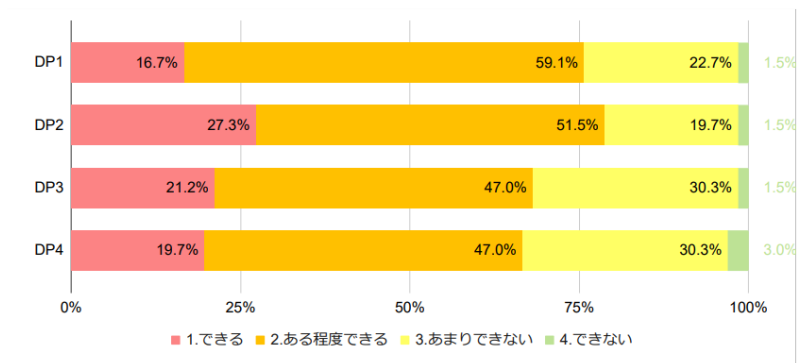


2024 年度 1 年生

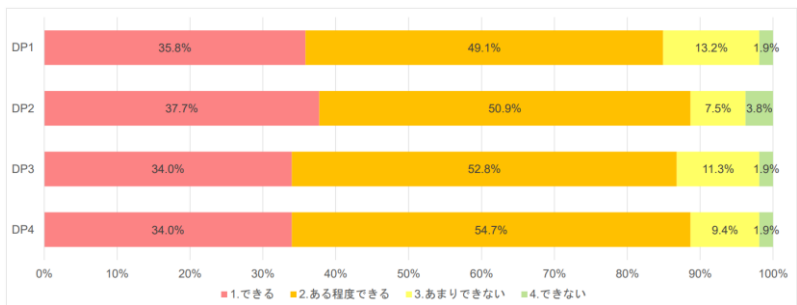


地域社会学科

2023 年度 1 年生

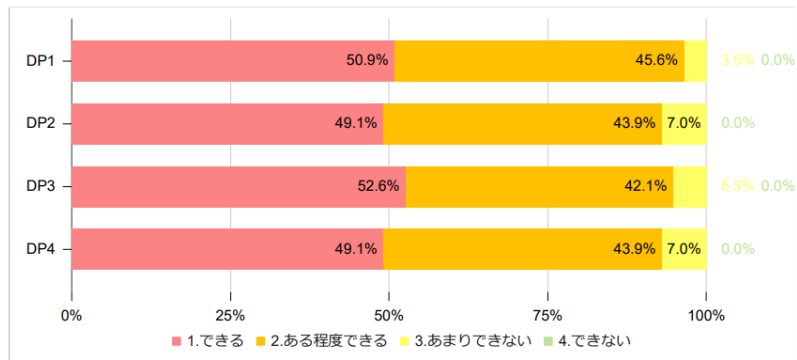


2024 年度 1 年生

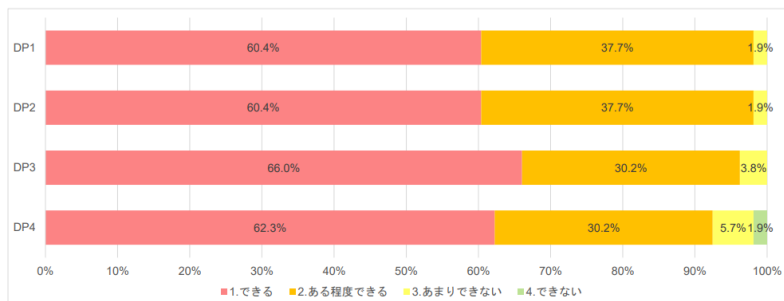


保育科

2023 年度 1 年生

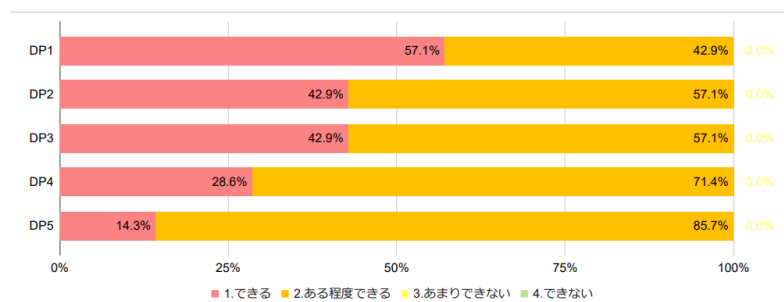


2024 年度 1 年生

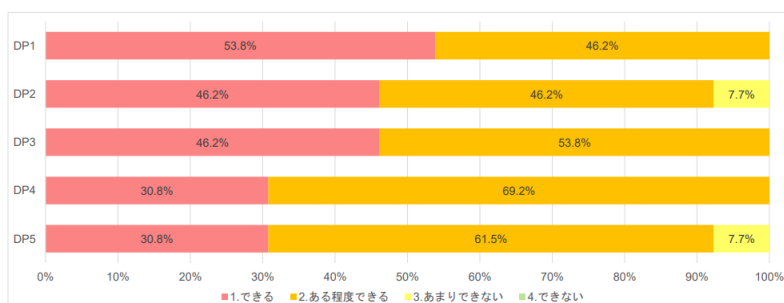


専攻科保育専攻

2023 年度 1 年生



2024 年度 1 年生



＜参考3＞ディプロマ・ポリシー

(2023 年度～)

【札幌大谷大学】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 基礎的汎用的スキル：社会において多種多様な人と協働し実践する力
- 2 自律性：目標達成のために努力を重ねる力
- 3 課題発見・社会貢献性：広い視野をもって、社会の課題を発見する力
- 4 知識活用：学んだ専門知識や技術を目的に応じて使いこなす力

【札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 基礎的汎用的スキル：人のもつ多様性を認め、コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけることができます。
- 2 自律性：主体的に課題を発見し、目標達成のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。
- 3 課題発見・社会貢献性：現代社会の多様な問題について関心を持ち、音楽を通して解決を図ることができます。
- 4 知識活用：4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。

【札幌大谷大学 芸術学部 美術学科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 基礎的汎用的スキル：人のもつ多様性を認め、コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけることができます。
- 2 自律性：主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。
- 3 課題発見・社会貢献性：現代社会の多様な問題について関心を持ち、美術・デザインを通して問題を提起し、解決を図ることができます。
- 4 知識活用：4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。

【札幌大谷大学 社会学部 地域社会学科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 基礎的汎用的スキル：コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。
- 2 自律性：主体的に課題に取り組み、目標達成に向けて持続的に努力を重ねることができます。
- 3 課題発見・社会貢献性：調査・研究を通じて社会の現状を深く分析・考察し、地域社会の課題発見やその解決に向けて積極的に貢献することができます。
- 4 知識活用：社会人として必要な基礎力を基盤とし、社会学のさまざまな分野における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。

【札幌大谷大学短期大学部 保育科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人として基礎的教養を身につけている。
- 2 知識理解：幼児教育・保育に関わる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。
- 3 協調性：社会の様々な問題に関心に向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。
- 4 知識活用：各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。

【札幌大谷大学短期大学部 専攻科保育専攻】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。
- 2 知識理解：幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。
- 3 協調性：社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。
- 4 知識活用：各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。
- 5 論理的思考力：一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。

(～2022 年度)

【札幌大谷大学】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 主体的に目標を貫徹する力（自律性）
自ら主体的に課題を見出し、高い目標に向けて持続的に努力を重ねることができます。
- 2 社会に貢献する姿勢（課題発見・社会貢献性）
社会が抱える課題を発見し、よく理解し、その解決に向けて意欲的に行動することができます。
- 3 多様な価値観・個性を受容し、共に努力し合える能力（協調性）
自分と違う個性を持つ他者への感謝の心を忘れず、目標に向け協働することができます。
- 4 社会で求められる基礎的汎用的スキル（基礎的汎用的スキル）
コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。
- 5 専門的知識・技術の修得と活用力（知識活用）
自らが選択した学位プログラムの基礎となる、専門的知識やスキルを修得し、卒業後の社会のニーズに応じて活用することができます。

【札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 主体的に生きがいや課題を見出し、将来的な目標に向けて、持続的に自己研鑽を積み重ねていくことができます。（自律性）
- 2 音楽を通じて自己を表現しながら、さまざまな人々と感性的交流の場を創出し、音楽の力によって社会における課題解決に取り組むことができます。（課題発見・社会貢献性）
- 3 音楽による相互交流を通して、個性を発揮しながら、他者の個性も理解し尊重する姿勢をもち、共に努力することができます。（協調性）
- 4 コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。（基礎的汎用的スキル）
- 5 正統的な演奏技法及び専門知識の修得に加え、音楽の実践や研究によって培われた豊かな感性を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。（知識活用）

【札幌大谷大学 芸術学部 美術学科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 主体的に自己表現を具現化し、技術向上のため継続的に自己研鑽を積み重ねることができます。（自律性）
- 2 現代社会の多様な問題について考察し、美術を通じ問題解決を図ることができます。（課題発見・社会貢献性）
- 3 西洋及び日本の芸術・文化や伝統の普遍的価値を理解し、異なる価値観や個性を受容し、他者を尊重し協力し合うことができます。（協調性）
- 4 コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。（基礎的汎用的スキル）
- 5 4年間で修得した専門的な知識やスキルを、実社会のニーズに応じて活用することができます。（知識活用）

【札幌大谷大学 社会学部 地域社会学科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 主体的に地域社会における課題を見出し、その解決に向け、持続的に努力を重ねることができます。（自律性）
- 2 フィールドワークや社会調査を通じて地域社会の課題を発見し、課題解決に向けて積極的に貢献することができます。（課題発見・社会貢献性）
- 3 地域社会の企業・施設・行政機関での社会体験・職場体験を通して、働くことの意義への理解を深めつつ、社会性をもって協働することができます。（協調性）
- 4 コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。（基礎的汎用的スキル）
- 5 社会人として必要基礎力（コミュニケーションスキル、複眼的なものの見方など）を基盤とし、社会学のさまざまな分野（地域・公共・福祉・家族・観光・メディアなど）における専門的知識を、現実社会のニーズに応じて活用することができます。（知識活用）

【札幌大谷大学短期大学部 保育科】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。
- 2 幼児教育・保育にかかわる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。
- 3 社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。
- 4 各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。

【札幌大谷大学短期大学部 専攻科保育専攻】

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

- 1 建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。
- 2 幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。
- 3 社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。
- 4 各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。
- 5 一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。